

第 10 回 知 多 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

平 成 2 7 年 9 月 1 1 日

知 多 市 教 育 委 員 会

第 10 回 知 多 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

招 集 年 月 日	平 成 2 7 年 9 月 1 1 日
招 集 場 所	知 多 市 役 所 2 階 教 育 委 員 会 室
開 会	午 前 9 時 3 0 分
閉 会	午 前 1 1 時 4 分
出 席 委 員	委 員 長 岩 見 田 健 委 員 長 職 務 代 理 者 平 松 鋼 一 石 井 文 廣 深 谷 尚 義 竹 内 聰 一 教 育 長 小 宮 克 裕 出 席 し た 職 員 教 育 部 長 松 井 禎 司 生 涯 学 習 課 長 柴 山 利 之 生 涯 ス ポ ー ツ 課 長 堀 之 内 康 学 校 教 育 課 長 勝 崎 当 仁 指 導 主 事 澤 田 広 彰 阿 部 剛 士 事 務 局 学 校 教 育 課 渡 邊 辰 徳 森 真 哉
傍 聴 者	な し
議 題	な し
そ の 他	(1) 平 成 2 7 年 9 月 市 議 会 定 例 会 の 一 般 質 問 の 概 要 に つ い て (報 告) (2) 平 成 2 7 年 度 全 国 学 力 ・ 学 習 状 況 調 査 の 結 果 に つ い て (報 告) (3) 平 成 2 7 年 8 月 準 要 保 護 者 等 の 認 定 状 況 に つ い て (報 告) (4) 教 育 委 員 会 後 援 事 業 に つ い て (報 告)

- 1 開 会 出席委員 6 人
第 10 回知多市教育委員会定例会を開会する。
- 2 前回会議録の承認について 第 9 回定例会会議録は、委員全員の賛成により承認された。
署名委員 石井委員、深谷委員
第 10 回定例会会議録署名委員の指名
深谷委員、竹内委員
- 3 委員長報告 前回定例会以降の内容を別紙委員長報告により説明した。
- 4 教育長報告 前回定例会以降の内容を別紙教育長報告により説明した。
- 5 議 題 なし

6 そ の 他

(1) 平成 27 年 9 月市議会定例会の一般質問の概要について (報告)

(説明) 松井教育部長

別紙資料により、概要を報告した。

(質疑・意見)

なし

(2) 平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果について (報告)

(説明) 阿部指導主事

本年度は、小学校、中学校ともに理科が加わりました。

小学校の学力は、国語、算数及び理科は、やや努力を要する状態です。

まず、国語は、知識及び活用ともに、やや努力を要する状態です。特に、知識は、前年度に比べて大きく下がっています。原因としては、無回答率が、すべての設問で全国平均に対して上回っています。何も書かないということが課題です。PISA 調査においても、日本の児童、生徒は、無回答率が非常に高いことを指摘されたことがあります。高校では、テストで部分点ということがありますが、小学校では、そういうことがなかなかありません。○か×かということ考えると、その点における指導で、普段から、ここまでは合っているとか、意見を述べたときに、合っているかどうかの判断は必要ですが、ここまでは、意味があるとか効果的であるとかという積み重ねが必要であると考えます。また、活用では、自分の考えを書くことはできますが、何かを理由付けて自分の意見を説得するうえで、何か根拠となるもの、あるいは図とか文章とかを引用して自分の意見を訴えるということが課題であることが分かりました。

次に、算数は、知識は、前年度、前々年度と同様、努力を要する状態です。活用も同様です。算数における課題は、数と計算です。基本的な計算力に課題があります。授業で解き方を教えますが、繰り返し問題を解き、計算力をきちんと身に付けるという過程での学習が必要です。また、活用では、国語と同様、無回答率が高く、全国平均を上回っていま

す。観点別の評価では、知識・理解において、知識が揺らいでいる点がありますので、そのことに関する設問では、解くことができないことに課題があります。

今年度から新たに加わりました理科ですが、国語と算数では、知識と活用は、それぞれ時間を分けて行っていますが、理科は、45分の時間の中で、知識と活用を同時に行っている点が異なっています。理科においても、知識と活用で、やや努力を要する状態です。道具の使い方については、メスシリンダーや駒込ピペットが出題されていましたが、これについては、概ね満足できていました。学校では、実験は省かれておらず、きちんと子どもたちに扱わせていることが伺えました。ただし、国語において、何か根拠をもとに説明することが課題であると分析しましたが、理科においても、科学の言葉であります水蒸気とかの用語をきちんと理解していて、そのことをもとに説明することに課題があります。また、学んだことを生かしてということ、振り子の学習も難しいのですが、それを生活の中にどのように生かしていくかという質問において少し課題が見られます。知識としては得ているものを生活の中でどのように生かしていくかということをもとに発展学習や自由工作などに時間を使って、活用に目を向けていく必要があります。

中学生の学力は、おおむね満足できる状態です。中学校では、きちんと学力を付けて、活用の面も意識して進めていることが伺えます。

まず、国語は、前年度、前々年度と比較して、大きな差はありません。活用は、前年度に改善が見られ、今年度も全国平均と比べて、大きな差はありません。したがって、知識及び活用において、おおむね満足できる状態です。知識では、4つの観点がありますが、すべて全国平均とほぼ同程度になっています。登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解することに課題が見られますが、大きく異なっている点はこの程度になっています。活用は、小学校と同様、文章の構成や展開などを踏まえ、理由を明確にして自分の考えを書くことに課題があることが分かりました。

次に、数学は、今年度、大きく改善されました。知識では、全国平均を大きく上回っています。また、活用では、前年度と同様、よい結果になっています。すべての項目で、全国平均を上回っています。ただし、苦手な部分としては、図形と関数です。作図とか集合の部分を見つけるとかで、数学的なものの考え方ですが、ひねられた内容になりますと、少し考えなければならないということで、少し苦手ですが、類題とかポイントなど上手に活用することを教えることによって、改善していくと考えます。

今年度から新たに加わりました理科は、知識と活用で、満足できる状態にあります。ほとんどの領域で、全国平均と同等か上回っています。特に、知識における電気では、中学校の女子は苦手ですが、知多市では、解いています。計算力はあるはずですので、小学校において計算ができないということは、定着するまできちんと見届けるという指導が大切になると考えます。活用は、苦手なこととして、気圧についての指導において工夫する必要があります。ただ、実験はきちんと行っているため、実験に関する設問では、大変高い正答率になっています。

以上が学力についてです。次に、質問紙ですが、前年度と比較した結果では、大きな差異はありませんでした。

小学校では、家庭学習は、宿題はきちんと行っていますが、休日における家庭での勉強時間は、前年度と同様、少ない状況です。勉強にまわすべき時間は、テレビ、ゲーム、インターネットの時間になっています。この点は、前年度と同様になっています。この点が、全国平均に比べて長くなっています。学校生活に関することでは、特に問題点はありませんでした。自尊感情に関することでは、肯定している割合が高く、自己肯定感を持っている児童が多いことが分かります。規範意識に関することでは、きまりを守ること、いじめ

はいけないこととと思っている割合は高くなっていまして、学校において、きちんと指導していることが分かります。家庭生活に関することでは、家庭で学校のことを話すことや保護者が学校の行事に参加する割合は、高くなっていきます。基本的な生活習慣に関することでは、朝食を食べる割合は高いですが、就寝時間や起床時間において、規則正しくなっていない点で、全国平均と大きく異なっています。

中学校では、小学校と同様に、家庭学習の時間が少ないです。そして、余暇の過ごし方において、ゲームやインターネットに費やす時間が長くなっています。この点で、家庭生活の改善を促す必要があります。学校生活に関することでは、学校に行くのは楽しいという項目では、小学校に比べて若干低くなっていますが、それでも高い割合になっています。自尊心に関することでは、前年度も課題でしたが、若干全国平均より低くなっています。ものごとをやり遂げてうれしかったということは、高い割合になっていますが、失敗を恐れないで挑戦するという点では、強く思っているかという点で、若干全国平均より低くなっています。規範意識に関することは、きまりを守る、人の気持ちが分かる人になる、いじめはいけないということでは、全国平均とほぼ同程度ですが、いじめに関して、強くいけないとと思っている割合が全国平均より低くなっていることに課題があります。家庭生活に関することでは、小学生に比べて、話す割合が低くなっています。保護者が学校行事に参加する割合も低くなっていますが、それでも、高い割合にはなっています。基本的な生活習慣に関することでは、小学校と同様の傾向になっています。

質問紙に関することでは、小学校、中学校において、多少の差異はありますが、家庭での生活、家庭での学習の仕方、起床時間などにかかる家庭での指導が必要であると考えます。

(質疑・意見)

小宮教育長

無回答ということがありました。外国人の児童、生徒において、言葉が分からないということで、回答ができないということがあるのではと思っています。ただ、算数などで、計算であれば、回答ができるとは思っています。

深谷委員

質問事項において、塾に通っているかということはあるでしょうか。

阿部指導主事

学習塾に通っているかという設問はあります。

深谷委員

知多市での割合はどうですか。

阿部指導主事

低いです。

小宮教育長

自尊心が生まれてきている傾向にあることがうれしく思います。

中学校における理科の結果が、県平均以上ですが、先生が、実験を多く取り入れて、理科が楽しくなるようにしてくれていることの結果だと思えます。

小学校では、6年生が対象ですが、5年生を対象に行ってくると、この結果に基づいての指導ができるようになります。

深谷委員

子どもたちから不思議に思うこと、興味を持っていることを聞いて、授業に生かすことが必要だと思います。特に、小学校では、カリキュラムに従うだけでなく、子どもたちが

らなぜそうなるのかと思うことを引き出して、そのことを解き明かすことにより、それが興味につながるので、先生が、子どもたちが不思議に思っていることを知ることが大切であると思います。

小宮教育長

旭東小学校が、理科で行ったC I Sが、まさにそれです。

阿部指導主事

文部科学省においても、どうしてこうなるのだろうという疑問が、原動力になり、それが生涯学習につながったり、長続きしたりする学習になると言っています。子どもたちにいかに疑問を持たせるかが教員の課題になります。

澤田指導主事

文部科学省が目指しているアクティブ・ラーニングがこのことです。学習者が主体的に学びを展開する。日本では、今から行っていこうとするところになります。

岩見田委員長

家庭学習に課題があるということですが、スマートフォンに関して、利用時間などの啓発をしましたが、どれくらいの効果があったのでしょうか。

阿部指導主事

呼びかけにはなっていると思います。

岩見田委員長

一度だけでは浸透しませんので、学校通信などを使って、何度となく啓発していくことが大切だと思います。

(3) 平成27年7月準要保護者等の認定状況について（報告）

(説明) 勝崎学校教育課長

準要保護は、前回から今回までの認定は、小学校で5人、中学校で5人、取消しは、小学校で23人、中学校で11人でした。現在の認定者数は、小学校で309人、中学校で237人、合計546人です。

次の認定児童生徒の理由別内訳は、生活保護が停止または廃止されたものの理由で、取消しが2人、児童扶養手当の支給を受けているものの理由で、取消しが29人で、保護者の職業が不安定で、生活状態が悪いと認められるものの理由で、認定が10人、取消しが3人です。

要保護は、前回から今回までの認定、取消しともありませんでした。現在の認定者数は、小学校で28人、中学校で26人、合計54人です。

特別支援教育は、Ⅱ段階で、前回から今回までの決定、取消しともありませんでした。現在の決定者数は、小学校で67人、中学校で16人、合計83人です。また、Ⅲ段階も、前回からの今回までの決定、取消しともありませんでした。現在の決定者数は、小学校で6人、中学校で4人、合計10人です。

就学援助認定者数の前年度との比較は、要保護の認定者数は、2人減の54人、準要保護は、11人増の546人です。

(質疑・意見) なし

(4) 教育委員会後援事業について (報告)

(説明) 勝崎学校教育課長

前回の定例会から今回までに、項番1の竹内外恵バレエ教室第27回おさらい会くるみ割り人形から項番9の市制施行45周年記念第43回知多市産業まつり「ちたっ子写生大会」までの9事業について、後援を承諾しました。

(質疑・意見) なし

7 自由討議

(1) 措置要求について

岩見田委員長

措置の要求がありましたが、その後、どうなりましたか。

澤田指導主事

お盆明けに、県に回答を提出しました。人事委員会からは、措置要求では、2、3回、要求者とのやり取りがあり、その後、人事委員会が判断を下すということでした。

(2) 宝くじふるさとワクワク劇場について

柴山生涯学習課長

9月27日日曜日に知多市制45周年記念「宝くじふるさとワクワク劇場 in 知多」を知多市と知多市教育委員会、一般財団自治総合センターの主催で開催します。この催しは、第1部が落語や漫才などのお笑いステージ、第2部が市民代表によるトーク、第3部が吉本新喜劇メンバーによるお笑い劇の3部構成になっています。

第2部「ふるさと、わが町あの一と、このひと」では、尾張万歳保存会長北川さんによるトークと県立知多翔洋高校の生徒による尾張万歳の実演を行います。

第3部「ほのぼのコメディ劇場」には、9月5日土曜日に行われた事前オーディションに合格した市民10人が出演し、吉本新喜劇のメンバーとコメディを共演します。

また、当日の会場運営ボランティアスタッフとして、市内の中学生9人が参加します。

(3) 平成27年度知多地方教育委員研修会について

勝崎学校教育課長

知多地方教育委員研修会について、日時、会場、内容等を説明した。

(4) 10月の行事等予定表等について

勝崎学校教育課長

10月の行事等予定表に、追加又は変更した事項を説明した。

8 閉 会 午前11時4分 第10回定例会を閉会
次回は、10月1日（木）午前9時30分から第11回臨時会を予定
知多市教育委員会会議規則第16条の規定により、ここに署名押印する。

平成27年9月11日

(委 員) _____

(委 員) _____

(教 育 長) _____

(教育部長) _____